⑵　入札説明会の日時及び場所　平成30年７月25日（水）10時30分　上記⑴の住所内
⑶　入札説明書の交付方法　上記⑴の場所において交付する。
⑷　入札、開札の日時及び場所　平成30年８月23日（木）10時30分　上記⑴の住所内
4　その他
⑴　契約手続において使用する言語及び通貨　日本語及び日本国通貨
⑵　入札保証金及び契約保証金　免除する。
⑶　入札の無効　本公告に示した競争参加に必要な資格のない者の提示した入札書及び入札条件に違反した入札書は無効とする。また、落札者が落札決定から契約締結までの期間に競争入札参加停止措置を受けた場合は、本入札に関する一切を無効とする
⑷　契約書の作成の要否　要
⑸　落札者の決定方法　上記２の要件を満たした業者で、本会が作成した予定価格の範囲内で最低価格を以って有効な入札を行った者を落札者とする。
⑹　その他　本入札に参加する者は予め「日本中央競馬会物品等入札心得」を熟覧し、承諾したうえで入札しなければならない。
5　Summary
⑴　Official in charge of contract : Kazuhisa Hariu, Vice Director of Equine Research Institute of Japan Racing Association
⑵　Classification of the products to be procured : 26
⑶　Nature and quantity of the products to be purchased : City Gas used in Equine Research Institute
⑷　Delivery period : From 1 December 2018 through 30 November 2021
⑸　Delivery place : Equine Research Institute
⑹　Qualifications for participating in the tendering procedures : A or B
⑺　Date and Time of tender : By 10 : 30 a.m 23 August 2018
⑻　Contact point for the notice : General Affairs Section, Japan Racing Association, Equine Research Institute, 1400―4, Shiba, Shimotsuke-shi, Tochigi-ken, Japan 329―0412 TEL 0285―44―0090

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。
平成30年６月29日
契約責任者　中日本高速道路株式会社
名古屋支社長　近藤　清久
◎調達機関番号　418　◎所在地番号　23
1　工事概要
⑴　品目分類番号　41
⑵　工事名　東名高速道路（特定更新等）庄内川橋他１橋床版取替工事　（電子入札（郵送入札）対象案件）
⑶　工事場所
自）愛知県名古屋市（名古屋ＩＣ）
至）愛知県春日井市（春日井ＩＣ）
⑷　工事内容　本工事は、東名高速道路名古屋ＩＣ～春日井ＩＣ間において、床版取替工、床版防水工及び橋梁付属物取替工等を実施する工事である。
【床版取替対象橋梁】
●庄内川橋（上り線）【鋼４径間連続合成鈑桁（橋長：163.4m）】（下り線）【鋼４径間連続合成鈑桁（橋長：167.3m）】
●神領橋（上り線）【鋼３径間連続非合成鈑桁（橋長：113.0m）】（下り線）【鋼３径間連続非合成鈑桁（橋長：115.0m）】
【床版防水工対象橋梁】
●志段味橋（下り線）【単純ＰＣ中空床版（橋長22.2m）】
●庄内川橋（下り線）【単純鋼合成鈑桁（橋長20.9m）】
●神領第２高架橋（下り線）【ＲＣ５径間連続中空床版＋ＲＣ４径間連続中空床版，全長：291.2m】
●神領第１高架橋（下り線）【ＲＣ５径間連続中空床版，全長：228.1m】
●四ツ池高架橋（下り線）【ＲＣ４径間連続中空床版，全長：109.0m】
●内津川橋（下り線）【ＰＣ３径間連続Ｔ桁，全長：70.2m】
⑸　工事概算数量
床版取替工　約 7,000㎡
床版防水工　約15,000㎡
舗装工　１式
橋梁付属物取替工　１式
塗替塗装工　４連
対面通行規制工　１式
構造物詳細設計　１式
⑹　工期　契約締結の翌日から1050日間
⑺　本工事は、すべての入札参加者から単価表の提出を求める工事である。
⑻　本工事は、設計図書に参考として示した図面及び仕様書において、あらかじめ指定する範囲についての工事目的物、施工方法及び仮設備計画に関する提案（以下「技術提案」という。）及び総合評価提案資料を求め、価格と価格以外の要素とを総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式の適用工事である。
⑼　本工事は、資料の提出・入札を電子入札システム又は郵送で行う対象工事であり、当社ホームページに掲載の電子入札（郵送入札）運用マニュアルを適用する。なお、電子入札により難いものは、電子入札（郵送入札）運用マニュアルに基づき、契約責任者に紙入札方式参加届出書（様式１）を提出して郵送で行う紙入札方式によることができる。
⑽　本工事の契約の締結は電子契約による。ただし、外国の企業で日本国内における商業登記が未登記により電子証明書を取得できない場合はこの限りではない。（詳細は入札（見積）者に対する指示書を参照）
2　競争参加資格　本工事に係る競争に参加する者に必要な資格を有する者は、次に掲げる条件をすべて満足し、かつ、名古屋支社長による本工事に係る競争参加資格確認の結果、資格があると認められた者とする。
⑴　「中日本高速道路株式会社契約規則」（中日本高速道路株式会社規程第25号）第11条の規定に該当しない者であること。
⑵①　単体の場合
「平成29・30年度中日本高速道路株式会社工事競争参加有資格者」のうち、当該資格の認定の際に算定された経営事項評価点数が1,100点以上の橋梁補修工事を有している者（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、当社が別に定める手続に基づく工事競争参加資格の再認定を受けていること。再認定を受けた者にあっては、当該再認定の際に、経営事項評価点数が1,100点以上（橋梁補修工事）であること。以下同じ。）であること。
②　特定建設工事共同企業体（甲型）を構成する場合
「平成29・30年度中日本高速道路株式会社工事競争参加有資格者」のうち、当該資格の認定の際に算定された経営事項評価点数が1,100点以上の橋梁補修工事を有している者の２者又は３者で構成された共同企業体であること。なお、経常建設共同企業体、協業組合及び事業協同組合は、特定建設工事共同企業体の構成員となれないものとする。
⑶　会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（いずれも上記⑵の再認定を受けた者を除く。）でないこと。又は、この条件を満たす２者又は３者で構成された特定建設工事共同企業体であること。
⑷　施工実績　平成15年度以降に元請けとしてしゅん功した次の工事の施工実績を有すること。提出できる施工実績は１件とする。（特定建設工事共同企業体及び経常建設共同企業体の構成員としての施工実績は、出資比率が20％以上の場合のものに限る。乙型の特定建設工事共同企業体としての実績は、協定書の分担工事の実績のみ同種工事の実績として認める。この場合、協定書の写しを技術評価資料に併せて提出すること。）
①　単体又は特定建設工事共同企業体（甲型）を構成する場合の代表者
求める実績　橋面積1,600㎡以上の橋梁床版の新設又は取替を行った工事（橋梁床版は、現場打ち床版、プレキャスト床版、プレキャストセグメントを問わない。）
②　特定建設工事共同企業体（甲型）を構成する場合の代表者以外
求める実績　橋梁上部工を架設した工事
⑸　競争参加資格確認申請書及び競争参加資格確認資料の提出期限の日から開札の日までの期間に、「中日本高速道路株式会社工事・調査等の資格登録に関する要領」に基づき、「地域１」において、資格登録停止を受けていないこと。共同企業体の場合は、各構成員が前述の期間において資格登録停止を受けていないこと。
⑹　共同企業体を構成する場合においては、次に掲げる事項を満たしていること。
①　各構成員が当該工事に対する建設業法（昭和24年法律第100号）の許可業種につき、許可を有しての営業年数が５年以上であること。ただし、相当の施工実績を有し、確実かつ円滑な共同施工が確保できると認められる場合においては、許可を有しての営業年数が５年未満であってもこれを同等として取扱うことができるものとする。